

## 重点戦略

## 1

## 協働のまちづくりと地域力のアップ

まちづくり宣言1 市民活動日本一を目指したまちづくりを進めます。

## 1 現状認識

- ・少子化、高齢化の急速な進行などによる社会環境の変化や市民ニーズの多様化・高度化に伴い、行政だけでは解決が難しい問題が増えてきています。
- ・「新しい公共」の理念が提唱されるなど、「公共を皆で担っていく」ことの重要性が高まっています。
- ・本市には豊かな知識・経験を持つ市民や意欲あふれる住民自治組織・市民活動団体などが数多く存在しています。このような中、ボランティアや市民活動に取り組む市民や団体が増えています。
- ・今後も、「新しい公共」の構築に向けて、市民と行政が課題解決に向けて共に考え実践する、協働のまちづくりを進めていく必要があります。

## 2 宣言が目指すまちの姿

市民一人ひとりがまちづくりの担い手として意識を持って行動し、他に誇れる活発な市民活動により、まちが支えられています。

## 3 実践に向けての考え方

## (1) 協働の取組の拡大

NPO法人をはじめ、市民活動団体との連携を強化し、協働事業の拡大を図ります。

## (2) 市民活動の支援

幅広い分野で活発な市民活動が展開されるよう、支援策の充実を図ります。

## (3) 「公共を皆で担う」気運の醸成

「新しい公共」の理念を広く周知し、一人ひとりのまちづくりの担い手としての行動を促進するための気運醸成を進めます。

## 市民の役割

まちづくりの担い手であることを自覚し、市民活動に自発的に参加し、自ら考え行動します。

## 行政の役割

様々な活動主体との連携を深め、幅広い分野で協働の取組を推進するとともに、市民活動促進に向けた環境整備を進めます。

#### 4 主要事業

主要事業名	内 容
優先プロジェクト まちづくりバンク・ポイント 制度の構築 <b>新規</b>	市民のボランティア活動の活性化を図るため、新たに登録制度やポイント制度を構築し、活動を促進します。
協働事業提案制度	市民から地域の課題などの解決に向けた事業を募集し、協働で実施します。また、まちづくりのアイデア提案を広く募集します。
公共施設里親制度の拡充	身近な市民活動の代表として、市民が参加しやすい制度となるよう公共施設里親制度 <sup>*1</sup> を拡充します。
市民活動の支援	備品や会議室の貸し出し、コーディネート機能の強化、これから市民活動を行おうとする団体の立ち上げなど、支援策の充実を図ります。また、市民活動センター <sup>*2</sup> の運営見直しを含め、様々な角度から検証し、利用しやすい施設を目指します。
市民活動の啓発	積極的なPRと市民活動体験や気運の醸成に向けた講座の開催などを通して、市民の意欲を高めます。

#### 5 数値目標

指 標 名	ベース値	目標値
1. 市民活動への支援や参加できる機会に満足している市民の割合(%) ※市民活動の進捗に関する市民の評価を見る指標	19.9	29.9
2. 市民提案型協働事業への提案件数(件) ※市民のまちづくりへの関心度・協働意識の広がりを見る指標	3	6
3. 行政提案型協働事業への提案件数(件) ※市民のまちづくりへの関心度・協働意識の広がりを見る指標	2	5
4. 市民活動センター登録団体数(団体) ※市民の市民活動への取組状況を見る指標	50	60
5. 公共施設里親制度登録団体数(団体) ※市民のボランティア活動への関心度を見る指標	68	82
6. 市民活動センター延べ利用者数(人) ※市民の市民活動への関心度を見る指標	5,475	7,118

<sup>\*1</sup>公共施設里親制度：道路や公園等を「子ども」と見立て、市民や地元企業がこれら施設の「里親」となり定期的・継続的に清掃等をボランティアで行うシステム。

<sup>\*2</sup>市民活動センター：ボランティア活動や社会貢献活動などの市民活動を支援することを目的に市で設置している施設。